

令和七年度の取り組み

校長 山田浩之

入学式から二週間が過ぎ、一年生も少しずつ学校生活に慣れてきました。鉛筆を持って文字を書くための練習も始まり、真剣に練習帳に向かっていく姿が、ほほえましく感じられます。

令和七年度の新潟小学校は、新一年生五四人、転入生一人、新任職員十一人を迎えてスタートしました。今年度も、教育目標「たくましく 美しく」の下、子どもたちの思いや願いを引き出し、成長を支えていきます。

令和七年度、新潟小学校は、次の四つのことに力を入れて参ります。

一つ目は、生徒指導に関する問題への対応を迅速に丁寧に行うことです。これは、ここ数年、新潟小学校が全力で取り組んできたことです。いじめも不登校も子ども同士のトラブルも、まずは未然防止に取り組みます。学級担任等による教育相談を行い、子どもの思いを把握して、その思いに寄り添うことを大切にします。その上で、生徒指導に関する問題が発生した場合は、速やかにチームで対応することを徹底します。

二つ目は、これからの新しい学習指導の在り方を探る研修に取り組むことです。特に、個別最適な学びとは、

どのような学び方で、新潟小学校の子どもには、どのようなやり方が適しているのか、実践的に研究していきます。実践を積み上げる中で、何かしら知見を得ることができたなら、新潟小学校以外の先生方にもお示ししていきたいと考えています。

三つ目は、協働的な活動の充実です。五・六年生の新潟小学校をよりよくするための活動、「プロジェクト活動」を充実させ、子どもたちが主体的に活動に参画できるようにします。それぞれの願いや思いを大切に、活動を進めていきます。プロジェクト活動の外にも、異学年で一緒に行う活動も充実させていきます。

四つ目は、支援を必要としている子どもに適切な支援を届けることです。新潟小学校の子どもも、得意・不得意をはじめ、様々なその子らしさをもち合わせています。まずは、子ども自身が、多様性を理解し、保護者の皆様にも理解を一層深めていただけるようにしていきます。その上で、支援を必要としている子どもにできる限りの支援を届けていきます。

新潟小学校は、この四つの取り組みに力を入れ、えがおあふれる学校を目指します。